



APNG Camp in Busan 報告

JPNIC NG-TF

shi@goto.info.waseda.ac.jp

2003年9月19日



活動

- 8月24、25日の2日間のキャンプ活動に参加
- 8月24日
 - IP telephonyのセッションに参加
 - Youth Culture WGのセッションに参加
 - IDNセッションを司会
- 8月25日
 - Camp Discussionに参加し、Network Research Working Groupを設立
 - *Graduate Students BoF in APANに参加しました

IDNセッション 写真





IDN セッション

■ IDNセッションの流れ

- Jams Seng氏のセッション開幕スピーチ
 - 多言語ドメイン名のIETF, ICANNにおける状態
 - 展望
- Ph.D学生のZhang Hongの中国語ドメイン名の現状及び実装の紹介
- JPRSの遠藤氏による日本語ドメイン名の現状及び多言語ドメイン名に対応する実装の紹介
- TWNICのAnthony Lee氏による中国語ドメイン名の繁体字と簡体字の問題、登録現状、予約語など紹介
- 多言語ドメイン名の普及に関する議論

■ 結果

- 多言語ドメイン名についての各国地域における普及に関する情報交換ができた
- 1回のセッションのディスカッションでは多言語ドメイン名の普及についての議論の場として足りなく、継続的に行う必要がある



Network Research Working Group (NRWG)

- Mobile IP、無線LAN、ネットワークセキュリティ、携帯コンテンツに興味を持つ学生の集まり
- ワーキンググループの趣旨
 - 研究情報、技術情報の交換により、研究を促進する
 - 研究結果をIETF、ITUをはじめとする各研究組織に提案し、標準化ができるように協力する
 - 学生による学生のための研究ワーキンググループ
 - メールングリスト、メッセージャーなどあらゆる手段でreal timeの情報交換を行い、学生レベルの共同研究を目指す



Network Research Working Group Initial Members

■ メンバー構成

- 日本、中国、韓国、台湾の各大学から
- 大学生、大学院生
- 初期メンバーは9人



これから

- 日本からの参加者の内4人は次回のキャンプのcommitteeメンバーとなります
 - 私も次回のキャンプのcommitteeメンバーの1人となっております
- 次回のキャンプをもっとネットワークに密接するリサーチ、ポリシー、マーケティングというテーマで取り込んで行きたいと考えています
- APNGキャンプは一年2回で2日間という開催スタイルから一年一回、4日間という開催スタイルになります
 - もっと参加者の間でよく準備してから、キャンプに参加したい
 - せっかく集まるので、もっとよくとさまざまなことを議論していきたい